



# 阿寒自然散策路サイン整備マニュアル

Akan sign manual



# sign manual

## はじめに

阿寒国立公園に位置する、雄阿寒岳、雌阿寒岳を核に阿寒湖、オンネトー等の周辺エリアは、登山やトレッキングに供する自然散策路整備を行っているエリアです。

本マニュアルは、これらの誘導案内サイン等を整備するにあたって、関係機関及び管理者、行政機関等が連携し、統一したサイン類の整備に資する基本的なルールを定めています。

### ■サイン整備の目的

歩行者を対象として、国際化に対応したサイン設置により、安全・安心で楽しい歩行環境の整備を図ります。

### ■対象エリア

阿寒国立公園における（特に雌阿寒岳、雄阿寒岳周辺部）登山道、遊歩道

### ■対象となるサインの種類

- 誘導系サイン：登山道における道標、散策路誘導サイン等の誘導標識
- 名称系サイン：地点名称表示および説明表示などの名称標識
- 規制系サイン：禁止行為、規制行為を呼び掛ける注意標識



## 1. 文字書体の基準

- 公共標識に使用する言語は、日本語に英語を併記することを基本とする。
- 英語以外の外国語は、必要に応じて中国語、ハングルの表記を行う。
- 4つの言語で表記する場合は、表示内容の視認性が損なわれないよう注意する。

### ■書体

- ・日本語に使用する文字は、線幅がほぼ一定で視認性に優れた「角ゴシック体」を基本とする。
- ・英語・数字の書体は、「サンセリフ系書体\*」を基本とする。また中国語・ハングルの書体も、角ゴシック体に準じた書体を選択する。
- ・長い名称など、表記スペースが不足する場合は、横組み表記では長体を、縦組み表記では平体をそれぞれかける。

\*サンセリフ系書体：欧文書体のうち、文字の末端部にある爪のような装飾（セリフ）がなく、文字に使用する線の太さがほぼ一定である書体のこと。

### □日本語角ゴシック体の例：HGP創英角ゴシックUB

（正体）

**阿寒国立公園**

（長体90%）

**阿寒国立公園**

（長体75%）

**阿寒国立公園**

自然探勝路  
（正体）

自然探勝路  
（平体90%）

自然探勝路  
（平体75%）

### □英語サンセリフ系書体の例：Arial Bold

**ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ**

**abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789**

**Akan National Park**

### ■文字の大きさ

- ・文字の大きさは文字高で表す。
- ・英語の文字高は、日本語の文字高の3/4程度とする。

### □文字の大きさ（文字高）

**国立公園**

日本語の文字高：1

**Hiking trail**

英語の文字高：3/4

## 2. ピクトグラム

### ■色彩

- ・JIS(日本工業規格)に色彩が規定されたピクトグラムは、色彩を変更せずに用いる。
- ・ピクトグラムを案内図上に表示する場合は、視認性を考慮して黒地に白図のネガ表現を原則とする\*1。背景の明度が低い場合は、ピクトグラムの白の枠線で囲み視認性を高める。
- ・モノクロのピクトグラムを誘導標識に表示する場合は、白地に黒のポジ表現を原則とする。
- ・案内図上で用いる案内所、情報コーナー、お手洗など利用者の利便性に係るピクトグラムは、一般の施設との区別を明確にするとともに、視認性を高めるため、青地に白図のネガ表現とする。

### □ピクトグラムに用いる色彩\*2

種類	安全(防災・危険)	禁止	注意	指示
基本形状*3				
色	正方形の内部を赤で塗りつぶす	緑および内部の斜線部分は赤とし、その他は白とする	三角の部分は黒とし内部は黄色とする	円の内部を青で塗りつぶす

\* できるだけ視認性の高い赤(「安全(防災・危険)」)、黄(「注意」)、青(「指示」)を使用する。

### □ポジ表現・ネガ表現



ポジ表現



ネガ表現

### □利便性に係る施設の表現



※1 「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」より

※2 「JIS Z 8210」より作成

※3 表中の色は印刷により実際の色とは異なるため、色見本等による確認が必要である。

### ■文字の併記

- ・地図上に表示する場合は凡例を設け、ピクトグラムの意味内容を日本語、英語、中国語、ハンガルの4言語で表示する。
- ・誘導系サインに表示する場合は、ピクトグラムの意味内容を日本語と英語で表示する。
- ・規制系サインに表示する場合は、ピクトグラムの意味内容を4言語で表示する。
- ・利便性に係る施設など認知度が高いと考えられるピクトグラムは、文字を省略しても良い。
- ・ピクトグラムに文字を併記する場合は、日本語文字高を1とした場合、英語文字高を3/4、ピクトグラムの外形枠を9/4の比率で表示することを原則とする。

### □文字・ピクトグラムの大きさ比率



### ■文字・ピクトグラムの表示方法

- ・案内図上で用いる文字やピクトグラムは、高齢者や弱視者にも判読しやすいよう、できるだけ大きく表示する。ただし、地図の範囲に施設類が集中した場合や、地図の縮尺が小さいなどの場合は、文字やピクトグラムによって地図情報が隠れてしまうことがあるため、下に示す文字・ピクトグラムの大きさを参考にし、最低限必要な大きさに配慮する。
- ・一度に認識できる情報量には限度があるため、場合によっては情報量を減らすことも検討する。

### □地図上に表示する文字・ピクトグラムの大きさ

視距離	和文文字高	英文文字高	ピクトグラム	和文	英文
30mの場合	120mm以上	90mm以上	凡例部表示	24.0mm	10.5mm / 8.0mm
20mの場合	80mm以上	60mm以上	特大サイズ	—	18.0mm / 14.0mm
10mの場合	40mm以上	30mm以上	大サイズ	21.0mm	9.0mm / 7.0mm
4～5mの場合	20mm以上	15mm以上	中サイズ	16.5mm	7.0mm / 5.5mm
1～2mの場合	9mm以上	7mm以上	小サイズ	12.0mm	5.0mm / 4.0mm

「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」より 「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」より

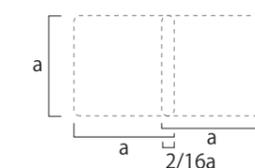
・視距離50cmを想定。

・案内所、情報コーナー、都道府県庁、市町村役場、博物館など、移動の目的地となる主要な施設の表示には、大サイズを用いるよう示されている。

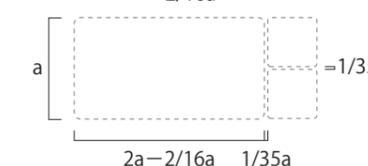
### ■ピクトグラムの組み合わせ

- ・施設の複合的な機能を表す際には、ピクトグラムを組み合わせることができる。
- ・ピクトグラムを組み合わせる場合は、下図を原則とする。

### □組み合わせの原則



### □組み合わせ例



## ■ピクトグラム一覧

## ■施設表示等

日本語	英語	JIS Z 8210 図記号 ※1	標準案内 用図記号 ガイドブック ※2	自然公園 公共標識 の標準表 示例※3	本マニ ュアルオ リジナル 図記号	文字に よる補 助表 示が必 要※4
1  自然探勝路、園路、歩道	Nature trail / Footpath			●		●
2  登山道	Trail / Hiking trail			●		●
3  避難小屋	Shelter hut	●				●
4  山小屋	Mountain lodge			●		●
5  ビジターセンター	Visitor center, Nature center			●		●
6  自然保護官事務所	Ranger station / Ranger post			●		●
7  ホテル／宿泊施設	Hotel / Accommodation	●				●
8  休憩所	Rest area / Rest house	●				●
9  展望地／景勝地	View point	●				●
10  キャンプ場	Campsite	●				●
11  スキー場	Ski ground	●				●
12  駐車場	Parking	●				●
13  ガソリンスタンド	Gasoline station	●				●
14  バス／バスのりば	Bus / Bus stop	●				●
15  タクシー／タクシーのりば	Taxi / Taxi stop	●				●
16  遊覧船	Pleasure boat	●				●
17  お手洗	Toilets	●				●
18  案内所	Question & answer	●				●
19  情報コーナー	Information	●				●
20  警察	Police	●				●
21  電話	Telephone	●				●
22  病院	Hospital	●				●
23  救護所	First aid	●				●
24  銀行	Bank	●				●
25  郵便局	Post office	●				●
26  博物館／美術館	Museum		●			●
27  温泉	Hot spring	●				●
28  手湯	Hand bath				●	●
29  足湯	Foot bath				●	●
30  レストラン	Restaurant	●				●

日本語	英語	JIS Z 8210 図記号 ※1	標準案内 用図記号 ガイドブック ※2	自然公園 公共標識 の標準表 示例※3	本マニ ュアルオ リジナル 図記号	文字に よる補 助表 示が必 要※4
31  喫茶・軽食	Coffee shop	●				
32  店舗・売店	Shop	●				
33  木彫クラフト店	Woodcraft shop				●	●

## ■禁止・規制、警告、指示、マナー等

34  キャンプ禁止	No camping	●				●
35  駐車禁止	No parking	●				●
36  自転車乗入禁止	No bicycles	●				●
37  立入禁止	No admittance	●				●
38  遊泳禁止	No swimming	●				●
39  飲めない	Not drinking water	●				●
40  捨てるな	Do not throw rubbish	●				●
41  悪路のため足下注意	Rough terrain! Watch your step	●				●
42  落石危険・頭上注意	Danger of falling rocks!			●		●
43  危険・火山性有毒ガス注意 雨天時注意・土石流危険渓流 等	Toxic volcanic gas! Danger of landslide when raining 等	●				●
44  危険・ヒグマ出没中注意	Warning! Bear habitat			●		●
45  落枝注意	Caution, falling twigs			●		●
46  スノーモービル等 乗り入れ規制区域	Snowmobiles prohibited area			●		●
47  自動車バイク等 乗り入れ規制区域	All motor vehicles prohibited area			●		●
48  モーターボート等 乗り入れ規制区域	Motorboats prohibited area			●		●
49  花を採らないでください ／採らない	Do not pick wildflowers or damage plants			●		●
50  動物を獲らないでください ／獲らない	No hunting or fishing / All wildlife is protected from hunting or harassment			●		●
51  野生動物に餌を与えないで ください／与えない	Do not feed any wild animals / Do not feed and handle wildlife			●		●
52  自然を大切に ／自然を大切にしよう	Care for nature 等			●		●
53  歩行中禁煙／吸わない	No smoking while walking			●		●
54  焚火禁止／炊かない	No lighting fires / Fires are not permitted			●		●
55  ペットの持ち込みは ご遠慮ください	No pets / No pets allowed			●		●
56  爆竹などの花火類禁止	No fireworks / Fireworks including firecrackers are prohibited			●		●
57  静かに	Quiet please	●				●
58  矢印	Directional arrow	●				●

## ■ユニバーサルデザイン

日本語	英語	JIS Z 8210 図記号 ※1	標準案内 用図記号 ガイドブック ※2	自然公園 公共標識 の標準表 示例※3	本マニ ュアルオ リジナル 図記号	文字に よる補 助表 示が必 要※4
59  身障者用設備	Accessible facility	●				
60  車椅子スロープ	Accessible slope	●				
61  階段	Stairs	●				
62  乳幼児用設備	Nursery	●				●
63  オストメイト対応設備	Ostomate		※5			●
64  勾配5%以下	Slope 5% maximum			●		●
65  勾配8%以下	Slope 8% maximum			●		●
66  勾配8%以上を含む	Includes slope over 8%			●		●

## ■安全

67  消火器	Fire extinguisher	●				
68  非常電話	Emergency telephone	●				
69  非常ボタン	Emergency call button	●				
70  自動体外式除細動器	AED			●		●

表中の記事について

※1 「JIS Z 8210 図記号」とは、同規格に規定された図記号であることを示す。なおJISに規定されたピクトグラムの表示事項はこれに従うことを基本とする。

※2 「標準案内用図記号ガイドブック」とは、2001年12月に交通エコロジー・モビリティ財団が発行した同ガイドブックに示された図記号であることを示す。

※3 「自然公園公共標識の標準表示例」とは、2010年6月に環境省が発行した同書に示された図記号であることを示す。

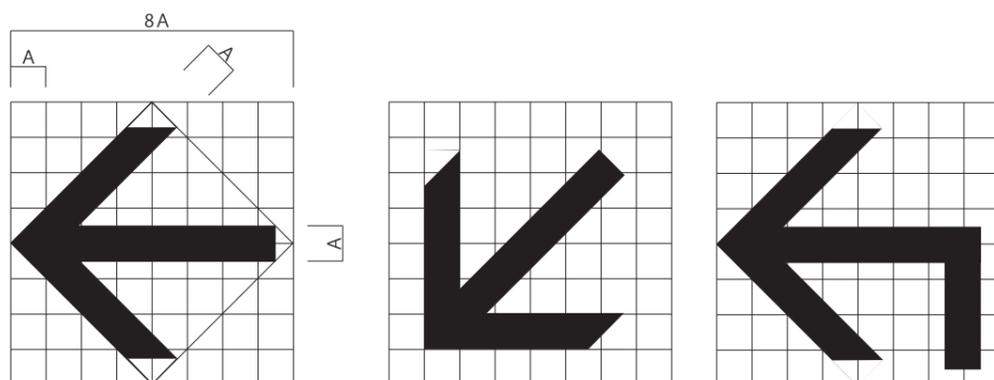
※4 「文字による補助表示が必要」とは、ピクトグラムを単独で使用しないことが望ましいことを示す。なお「施設名称等」のピクトグラムのうち固有の名称を持つ施設は、固有名称を併記することが望ましい。また「禁止・規制、警告、指示、マナー等」のピクトグラムは、具体的な意味内容を併記することが望ましい。

※5 オストメイト(人工肛門・人工膀胱造設者)の図記号は、2001年8月に交通エコロジー・モビリティ財団が発行した「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」に示されているもので、標準案内用図記号には含まれていない。

### 3. 誘導系サインの標準デザイン

- 目的地、施設の名称、方向、距離を表示し誘導する。
- サインそのものの素材は、経済的で耐久性に優れた素材を基本とする。
- サインの土台は木製等自然素材使用を基本とする。
- サインは茶色※をはじめとした自然に馴染む色とし、文字やピクトグラムは白抜きを基本とする。  
※本マニュアルでは、一般的な印刷に用いられる4色のインク（プロセスカラー）において、C0 M60 Y90 K80で表される茶色を用いている。（C：シアン、M：マゼンタ、Y：イエロー、K：ブラックを示す）
- 誘導系サインは 1) 腕木タイプ 2) 単柱タイプ 3) 補助タイプの3種類を基本とする。自立した設置と添架する設置をケースによりおこなう。補助タイプは添架のみの設置とする。

#### □ 矢印タイプのデザイン

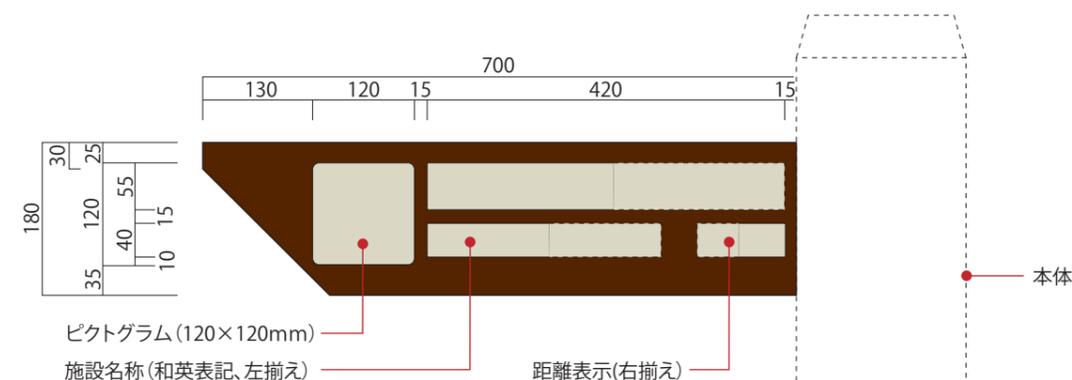


#### □ 補助タイプのデザイン

- ・ 矢印のみの表記は、散策路で使用する
- ・ 矢印下に日本語と英語で表記する



#### ■ 腕木タイプの標準デザイン（単位：mm）



- ・ 施設名称の文字数が多い場合は、文字を変形させて文字幅を縮小する。
- ・ 英語表示と距離表示を変形させる場合は、同率の変形とする。
- ・ 利便性に係る施設などピクトグラムの認知度が高い場合は、文字を省略することで、同じ方向にある複数の施設を表示させることができる。ただし、施設が集中しており各施設までの距離がほぼ同等である場合に表示するものとする。
- ・ 文字が長く変形によって著しく読み取りにくくなる場合には、ピクトグラムを省略して文字表示のみとする。

#### デザイン例

##### □ 左方向



基本型



施設名称の省略

##### □ 右方向

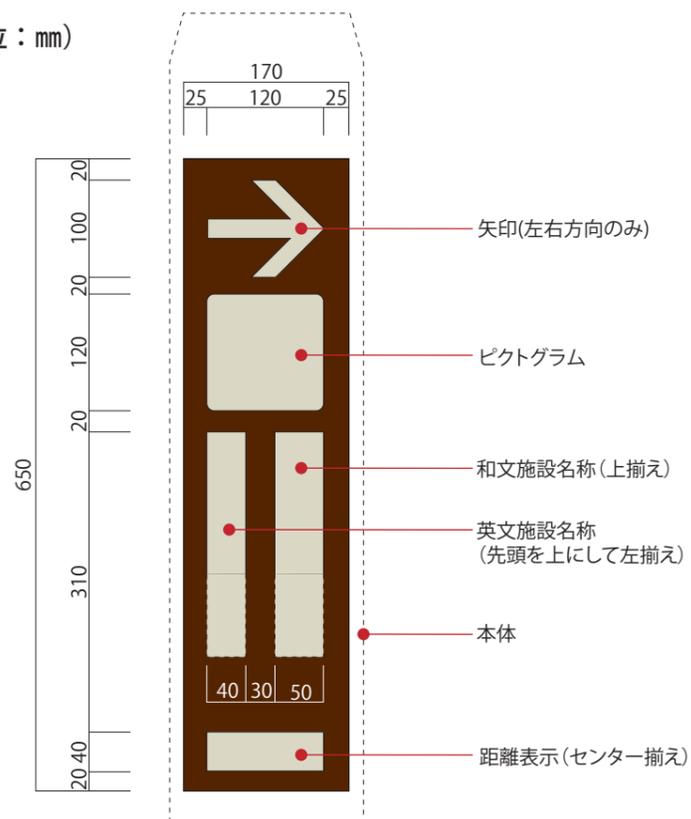


ピクトグラムの組み合わせ



ピクトグラムの省略

■単柱タイプの標準デザイン (単位: mm)



- ・英語表示は、単語の先頭を上にして日本語表示と平行に垂直方向に配置する。
- ・同一表示面に複数方向を表示することができるが、視距離が長くなるなど視認性が著しく低下するような場所で設置する場合は避ける。
- ・利便性に係る施設などピクトグラムの認知度が高い場合は、文字を省略することで、同じ方向にある複数の施設を表示させることができる。ただし、施設が集中しており各施設までの距離がほぼ同等である場合に表示するものとする。
- ・ケースにより規制標識との併記を認める。
- ・1 km以上はkm表示。1 km未満はm表示とする。

デザイン例



## 4. 名称系サインの標準デザイン

- 目的地、施設の名称を表示するとともに、必要に応じて解説を表示する。
- サインそのものの素材は、経済的で耐久性に優れた素材を基本とする。
- サインの土台は木製等自然素材使用を基本とする。
- サインは茶色※をはじめとした自然に馴染む色とし、文字やピクトグラムは白抜きを基本とする。  
※P7参照
- 地域の歴史文化を活かし、アイヌの基本文様である「アイウシ」※の使用を図る。  
※「アイウシ」は、アイヌの基本文様で、棘のあるものと呼ばれる括弧文様で構成されています。この棘が悪いカムイを追い払うとのことで、着物のえり・すそ・袖口に刺繍することが多い。

デザイン例

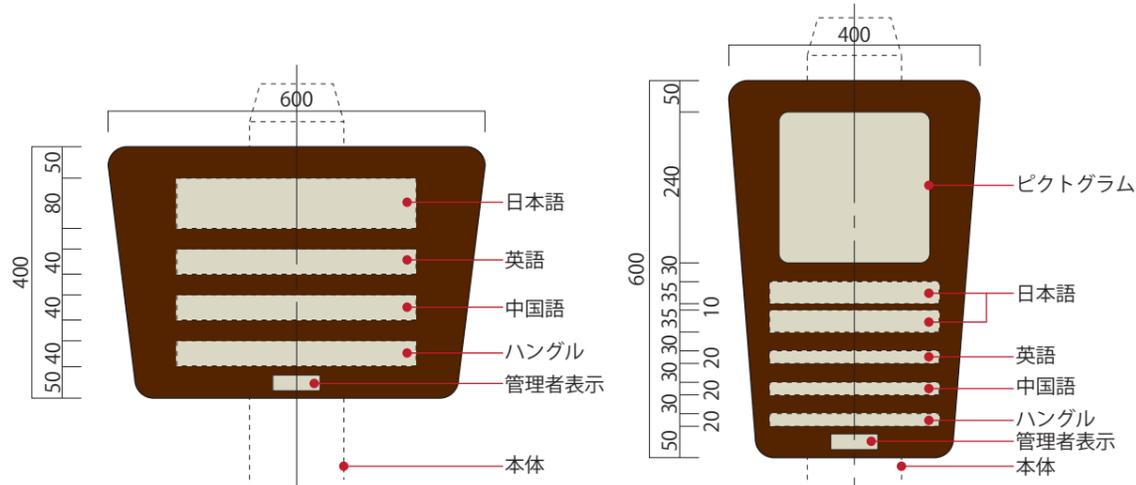


# 5. 規制系サインの標準デザイン

- 禁止・規制、警告、指示、利用マナーの呼びかけを行い、安全の確保、自然環境の保護、公序良俗の維持を進める。
- サインそのものの素材は、経済的で耐久性に優れた素材を基本とする。
- ケースによっては、柵や柱などに添架することも認める。

□文字による表示 (単位: mm)

□ピクトグラムと文字による表示 (単位: mm)



## デザイン例



# 6. 表記基準

- 基本とする表示言語は、日本語と英語とし、各表示内容に応じ、中国語、ハングルも適宜表記する。
- 固有名詞の英語表記は、「ローマ字+英語表記」を基本とする。

## ■表記使用言語の整理

表示	言語			
	日本語	英語	ハングル	中国語 繁体字又は簡体字
誘導系サイン (歩行者誘導サイン、等)	●	●	○	○
名称系サイン (記名表示、等)	●	●	○	○
規制系サイン	●	●	●	●

## ■ローマ字の綴り、表記使用言語の原則

- ・ローマ字は一般的なヘボン式を基本とする。
- ・施設や河川、山、湖沼などの名称の場合、固有名詞部分をローマ字表記とし、普通名詞部分を英訳して表記する。
- ・ただし、正確に情報を伝えるために、普通名詞部分もそのままローマ字表記をし、さらに英語表記を足しても良い。

### □ヘボン式の綴り方

あ行	a	i	u	e	o	ば行	ba	bi	bu	be	bo
か行	ka	ki	ku	ke	ko	ぱ行	pa	pi	pu	pe	po
さ行	sa	shi	su	se	so	きゃ行	kya		kyu		kyo
た行	ta	chi	tsu	te	to	しゃ行	sha		shu		sho
な行	na	ni	nu	ne	no	ちゃ行	cha		chu		cho
は行	ha	hi	fu	he	ho	にゃ行	nya		nyu		nyo
ま行	ma	mi	mu	me	mo	ひゃ行	hya		hyu		hyo
や行	ya		yu		yo	みゃ行	mya		myu		myo
ら行	ra	ri	ru	re	ro	りゃ行	rya		ryu		ryo
わ行	wa					ぎゃ行	gya		gyu		gyo
ん	n					じゃ行	ja		ju		jo
が行	ga	gi	gu	ge	go	ちゃ行	ja		ju		jo
ざ行	za	ji	zu	ze	zo	びゃ行	bya		byu		byo
だ行	da	ji	zu	de	do	びゃ行	pya		pyu		pyo

### □英語表記例

- ・○○山、△△岳 →Mt.○○、Mt.△△
- ・○○川 →○○ River
- ・○○湖 →Lake○○
- ・○○温泉 →○○ Onsen (Hot Springs)
- ・○○スキー場 →○○ Ski Ground
- ・民宿○○ →○○ Lodge

## ■サイン名称表記リスト例

項目	日本語表記	英語表記
登山道	雌阿寒岳	Mt. Meakan
登山道	雄阿寒岳	Mt. Oakan
登山道	白湯山	Mt. Hakuto
登山道	木禽岳	Mt. Kikin
探勝路	ボッケ散策路	Bokke Walking Trail
探勝路	雄阿寒山麓（太郎湖、次郎湖）	Oakan Mountains (Lake Taro, Lake Jiro)
探勝路	オンネトー原始の森	Onneto Primitive Woods
探勝路	前田一歩園 光の森	Maeda Ippo Foundation Hikari no Mori
散歩道	雄阿寒滝口コース	Oakan Top of the Waterfall Course
展望台&ビューポイント	双湖台	Sokodai
展望台&ビューポイント	双岳台	Sougakudai
展望台&ビューポイント	鶴見峠	Tsurumi Mountain Pass
展望台&ビューポイント	オンネトー展望台	Onneto Observatory
展望台&ビューポイント	滝見橋トルパ	Takimi Bridge Torupa
展望台&ビューポイント	スキー場展望台	Ski Ground Observatory
温泉	阿寒湖温泉	Lake Akan Hot Springs
温泉	雌阿寒温泉	Meakan Hot Springs
スキー	阿寒湖畔スキー場	Akan Lakeside Ski Ground
スケート	阿寒湖畔スケートリンク	Akan Lakeside Skating Rink
カヌー	阿寒湖西部	West part of Lake Akan
カヌー	阿寒川下流	Lower reach of Akan River
マリモ観察	マリモ展示観察センター	Marimo Exhibit Center
ビジターセンター	エコミュージアムセンター	Eco-Museum Center
観光案内所	阿寒観光協会（阿寒湖まりむ館）	Akan Tourist Association (Lake Akan Marimu Kan)
キャンプサイト	阿寒湖畔キャンプ場	Akan Lakeside Campsite
キャンプサイト	オンネトーキャンプ場	Onneto Campsite
遊覧船	阿寒観光汽船	Akan Sightseeing Boat
フィッシング	阿寒湖	Lake Akan
フィッシング	阿寒川	Akan River

## 7. 設置基準

- 設置にあたっては、不要となったサインは撤去し回収する。スクラップアンドビルドを徹底する。
- 新規設置の場合は、標準デザイン例を順守するが、既存土台や自然木等活用できる場合は活用する。
- 表示面の高さ位置を順守する。地面からサイン下部端までの長さを800mm～900mmとする。
- 不明点においては阿寒自然散策路連絡会議にて協議する。

## □サイン配置イメージ

道路標識  
「著名地点案内」  
■◎⇄

名称サイン  
◎■

誘導サイン

誘導サイン

補助タイプ  
⇄

誘導サイン

名称サイン  
◎■

■ピクトグラム  
◎文字表示  
⇄矢印  
km: 距離  
×: 規制

単柱タイプ  
◎⇄km  
■×

腕木タイプ  
◎⇄km  
■

添架タイプ  
◎⇄km  
■



## 阿寒自然散策路サイン整備マニュアル

2011年3月発行

発行：NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構

編纂：阿寒自然散策路連絡会議

(事務局：釧路市阿寒町行政センター観光商工課)

検討団体：環境省釧路自然環境事務所阿寒湖自然保護官事務所

林野庁根釧西部森林管理署

林野庁十勝東部森林管理署

北海道釧路総合振興局

(財)前田一步園財団

(財)自然公園財団阿寒湖支部

釧路市

足寄町

※同マニュアルは、『自然公園公共標識の標準表示例(環境省2010)』を基とし、『阿寒湖温泉らしい景観づくりガイドライン(環境省2011)』との整合性を図りながら、阿寒自然散策路の現状に合わせたサインマニュアルとして取りまとめています。

各管理者の散策路整備においては、このマニュアルに準じたサイン整備を実施されますようご配慮願います。

